

令和6年 2 月 3 日

令和6年度 学校教育自己診断について

○令和6年度における質問項目の選定

保護者の質問は新しく 2 問追加

○アンケートの回答形式

Google フォームで実施し、選択肢は以下の4種類とした。

A よくあてはまる、B ややあてはまる、C あまりあてはまらない、D まったくあてはまらない

生徒・教職員はすべての回答を必答にし、保護者は判断に迷う項目については未回答も可能とした。

○アンケートの実施期間

保護者・教職員：11月28日～12月20日

生徒：1・3 年 11月28日の HR 2年 12月5日

○回答数

保護者：403

生徒：861

教員：38

○比較分析の方法

A・B を合計した数／回答数……「肯定率」とする。

前年度のデータと比較することで、学校運営に対する評価を分析検討する。

(1)保護者アンケートについて

肯定率の平均 82.1(前年比 0.8%増)

筆答 1年20 2年13 3年10 計43件

肯定率平均は前年度と比べ0.8%の増加であった。

肯定率が90%以上だったものは、「10. 枚方高校は雰囲気が良く生徒が生き生きしている。」、「17. 枚方高校は子どもに生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を養おうとしている。」、「22.保護者用 classroom」はよく役立っている。」、「28. 枚方高校は保護者や地域の人々に対して授業参観の機会を設けている。」、「31. 学校は1人1台端末を効果的に活用している。」の5項目であった。

一方で、50%台の項目は「枚方高校の学習環境においての施設・設備は満足できる。」「生徒会活動は活発であると子どもから聞いている。」であった。生徒会活動の更なる活性化と保護者との共通理解が課題である。

(2)生徒アンケートについて

肯定率の平均 86.9%(前年比 0.5%増)

筆答 1年20 2年8 3年19 計47件

「10. 人権について学ぶ機会がある。」「11. 将来の進路や生き方について考える機会がある。」の 2 項目においては肯定率が 95%以上、肯定率が最も増加したものは、「14. 枚方高校はボランティア活動が活発である。」76.3%(7.9%増)であった。

一方で、「私は部活動に積極的に取り組んでいる。」の項目については、74.6%(2.6%減)と最も肯定率が低かった。

肯定率の高いものについては維持し、低いものについては、その要因について検討し向上に努めたい。

(3)教職員アンケートについて

肯定率の平均 78.7%

筆答 1 件

肯定率が最も高かったものは、「6. 各教科において、教材の精選・工夫を行っている。」「20. 生徒一人ひとりが興味・関心・適性に応じた進路選択ができるように指導している。」「43. コンピュータや ICT 機器が授業で活用されている。」の 3 項目(97.4%)であった。一方、「19. 校則が、生徒の実態や人権尊重の立場から適切であるかについて、話し合う機会がある。」

(44.7%)の項目が依然低い肯定率である。次年度も、さらなる取り組みが必要と考えられる。

(4)アンケート全般について

昨年度より Google フォームでのアンケートを実施しており、集計の効率化が図れるようになった一方、個人が特定されない形で集計しているため、未提出者に回答を催促することが難しい。来年度は、保護者の回答率を上げることが課題である。

アンケートの結果については、各分掌で話し合う機会を設けているが、今後は分掌を超えて課題について話し合う機会が必要になってくると考えられる。特に、保護者・生徒・教員すべてにおいて肯定率が低いテーマについては、改善に向けての取り組みを早急に進めていきたい。

以上